

## 事業名：みえのさと体験推進事業（継続）

担当課：農山漁村づくり課

### 1 事業の目的

来訪客の農山漁村地域での周遊化を図るため、県南部地域に相次ぎ開業している大型集客施設等と連携し、農山漁村地域ならではの「食」、「泊」、「体験」を楽しむ「農泊（農山漁村滞在型旅行）」の周遊プランの造成や、自然を生かした体験の促進に向けた取組を行います。

### 2 事業の必要性

前年度は、県南部地域を中心に周遊プランの造成とモニターツアーを実施しました。令和6年度は、来訪客の農山漁村地域でのさらなる周遊促進に向けて、県内全域に拡大して周遊プランを造成する必要があります。

### 3 事業の内容

#### (1) 農泊地域周遊化促進事業 7,395千円(3,843千円)

農山漁村地域での滞在をより魅力的なものとするこゝで満足度の向上を図り、来訪者・再訪者の増加、滞在時間の延長を促進させるため、県内全域に拡大して、「食」、「泊」、「体験」を楽しむ「農泊（農山漁村滞在型旅行）」周遊プランを造成します。また、周遊ルートの認知度向上のための情報発信を行うこゝで、来訪客の農泊地域周遊化を促進します。

#### (2) スポーツイベントの開催 1,513千円(1,007千円)

ジャパン・エコトラック伊勢熊野ルートを活用した自転車、トレッキング、カヤック等のスポーツイベントを実施することにより、三重の豊かな自然の魅力情報を発信します。

### 4 事業の効果

「じゃらん宿泊旅行調査」を実施するじゃらんリサーチセンターによると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、より目的志向性（興味関心）がはっきりした旅が増えているとの分析がなされています。事業の実施にあたっては、各地の特色ある「食」、「体験」、「文化」等を通して、自然的・文化的背景についても発信し、来訪者の知的好奇心を満たし満足度を向上させる仕組みを持った事業展開とすることで、農山漁村地域への交流人口拡大につながるこゝが期待できます。

### 5 事業実施期間

令和4年4月 ～ 令和7年3月

### 6 事業費

8,908千円（国：4,058千円、県：4,850千円）